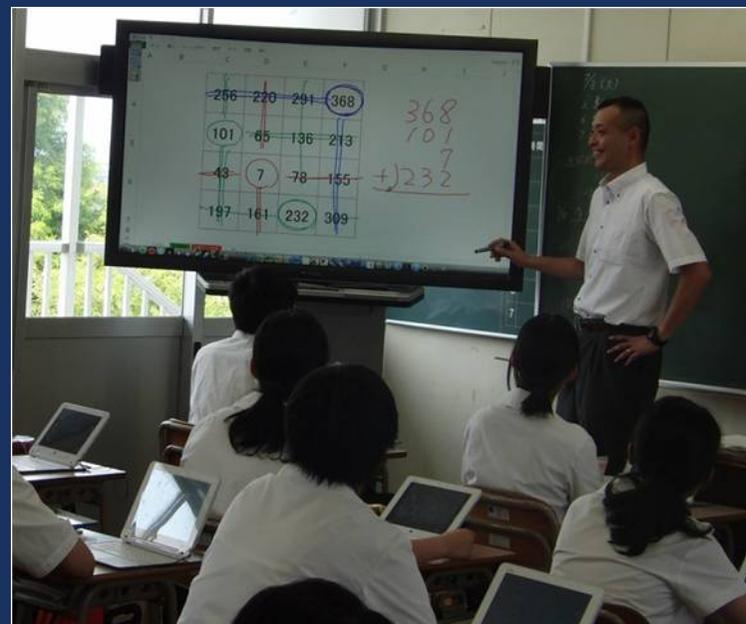


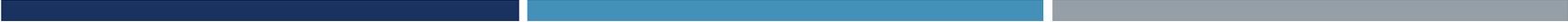
佐賀東高等学校における 学習用 P C 利活用について

佐賀東高等学校
教諭 轟本 隆則



本日の発表内容

0. 学校紹介
1. 本校でのICT利活用教育の取組概要
2. 実践事例の紹介
3. 今後の展望



学校紹介



佐賀県立佐賀東高等学校（全日制・普通科）

本校の特色

- 少人数学級編制の実施。1学年240人(40人×6クラス)募集し、7クラス展開。
- H26春は熊本大、鹿児島大、佐賀大、西南学院大、福岡大、立命館大などに進学。
- 運動部活動では、サッカー部、男子バスケット部、なぎなた部、水球部が県強化指定。
- 文化部活動では、演劇部、書道部、理化同好会が大活躍。



なぎなた部

国体優勝!!



佐賀県高体連事務局も本校にあります！

本校のICT環境

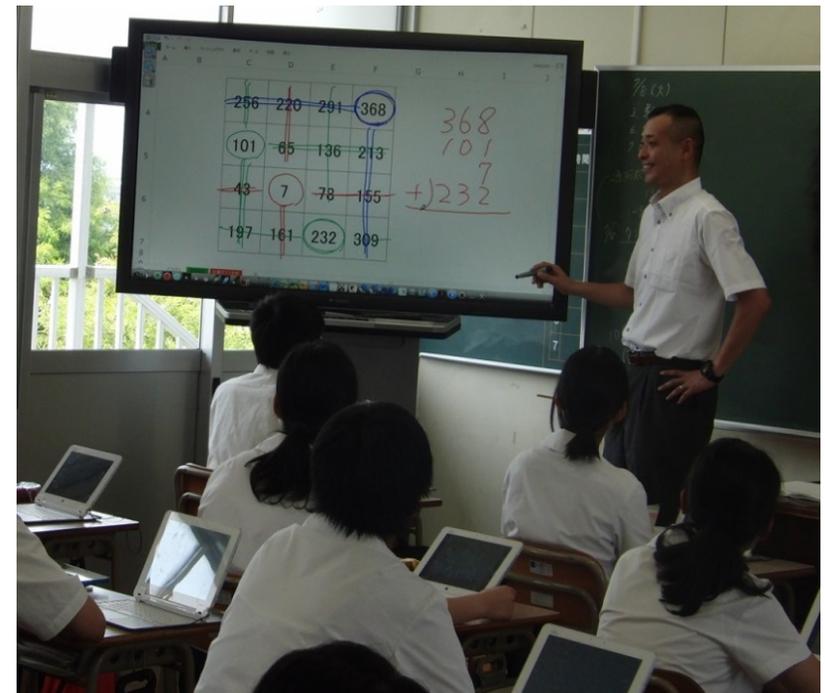
電子黒板	23台（3学年×7クラス、多目的教室1台、生物教室1台）
学習用PC	1年生240台(個人所有) 教師用50台、生徒用予備機42台。
無線LAN アクセスポイント	職員室、準備室、普通教室、特別教室、講義室を含む全教室および体育館に設置。 ※教室には前後2台。職員室、体育館には4台。



1. 本校でのICT利活用教育 取組概要

校内研修会・講習会

- **SEI-Net 研修**
(校務管理, 教材管理)
- **授業支援ソフト研修**
(xSync, SKYMENU)
- **デジタル教材インストール研修 & 作業**



校内研修会・講習会

- 情報モラル研修
- デジタル教科書利活用研修
- ICT校長研修会伝達講習
- モデル指導資料[県教委作成]伝達講習
- 佐賀新聞電子版 & 日経パソコン E d u
利活用研修

校内研修会・講習会（夏休み）

- 電子黒板研修、SEI-Net研修
- パワーポイント、エクセル、ワード、ワンノート、スカイメニュー研修
- 著作権講習会[講師ベネッセより]
- フォローアップ研修

学校訪問等

- 佐賀県教育委員会教育長視察(5月)
- 鹿児島県教育委員会視察(6月)
- 大阪府教育委員会視察(7月)
- 静岡中央高校視察(7月)
- 市立船橋高校視察(9月)
- 文部科学省教科調査官視察(9月)

公開授業等

- **第1回成果発表会公開授業(7月)**
- **NHK「クローズアップ現代」放送(9月)**
- **初任者研修他校研模範授業(10月)**
- **第2回成果発表会公開授業(11月)**

各教科でのICT利活用(主なもの)

<p style="text-align: center;">国語</p>	<p style="text-align: center;">公民</p>	<p style="text-align: center;">数学</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書 ・教材配布、回収 ・OneNote 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書 ・インターネット検索 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書 ・デジタル問題集 ・グラフ作成ソフト
<p style="text-align: center;">理科</p>	<p style="text-align: center;">保健体育</p>	<p style="text-align: center;">芸術</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・SKYMENU自習アプリ ・考査後に解答配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書 ・考査後に解答配布 	<p>学習用PCで調べ学習</p>
<p style="text-align: center;">英語</p>	<p style="text-align: center;">家庭</p>	<p style="text-align: center;">情報</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書 ・教材配布、回収 ・考査後に解答配布 	<p>SEI-Netアンケート</p>	<p>モデル指導資料を使用 <small>14</small></p>



2. 実践事例紹介

SEI-Net 活用事例

家庭基礎「被服実習（準備）」

ねらい

被服実習前の生徒のスキルを確認する。

準備

事前に質問項目(8問)を作成し、担当クラスの生徒を調査対象に指定しておく。

授業の流れ

前半は通常授業を実施し、終盤で学習者用PCから「SEI-Net」に各自ログインしてもらい、アンケートに回答。

被服実習前にアンケートを実施しておくことで、生徒各自の得意・不得意が把握できて、実習中にきめ細かな指導ができる。

- ・結果画面で回答できている生徒が確認できる。
- ・紙でアンケートを取るよりも集計の効率が良い。

授業支援ソフト活用事例

国語総合「羅生門」

ねらい

物語の情景を思い浮かべながら、読み進める力を身につけさせる。物語全体の理解度を図る。

前半

浦沢直樹の漫画『羅生門』を電子黒板で見せた後に、老婆と下人の表情を描画し、「xSync」にて送信・比較。

後半

「SKYMENU」で送信したWordのファイルに、老婆の言い分を現在の話し言葉に訳して記入、Wordにて保存。

「自分で描いた絵が電子黒板に投影される」という感覚を生徒が掴んでくれ、その後の活発な意見交換につながった。

文字入力スピードに差があるものの、自分の言葉で文章を書く作業にも興味を持って取り組んでいた。

xSync 授業画面

L: *ピクチャ*TabletSync

フォルダボタン設定

- デスクトップ
 - PC
 - IWB0006
 - ライブラリ
 - ネットワーク
- TabletSync
- 連携デバイス
- 画面メモを見る

フォルダの展開 画像の展開 画像の回転 展開データのクリア サムネイル整理

172.16.11.41 (177)

画面配信
接続数 = 0

閉じる ネームタグ 複数比較 全画面 閉じる



国語の授業風景

授業支援ソフト活用事例

数学Ⅰ「三角比」

ねらい

0° から 180° までの三角比の値を、単位円を使って求めることができるようになる。

準備

SKYMENUの自習アプリに一問一答形式で作問しておく。

授業の流れ

復習教材として、授業の導入部分の時間に各自でアプリをひらき解答する。

アプリ画面上で単位円をかきながら、三角比の値を求め、解答する。正解か不正解かがすぐに分かり、正答率も即座に把握できる。

ゲーム感覚で取り組むことができるので、生徒たちは興味をもって取り組んでいる。全体の**正答率を即座に把握**できるため、全体への解説も**ポイントを絞って**実施できる。

SKYMENU 自習アプリ

数学 選択問題

SKYMENU

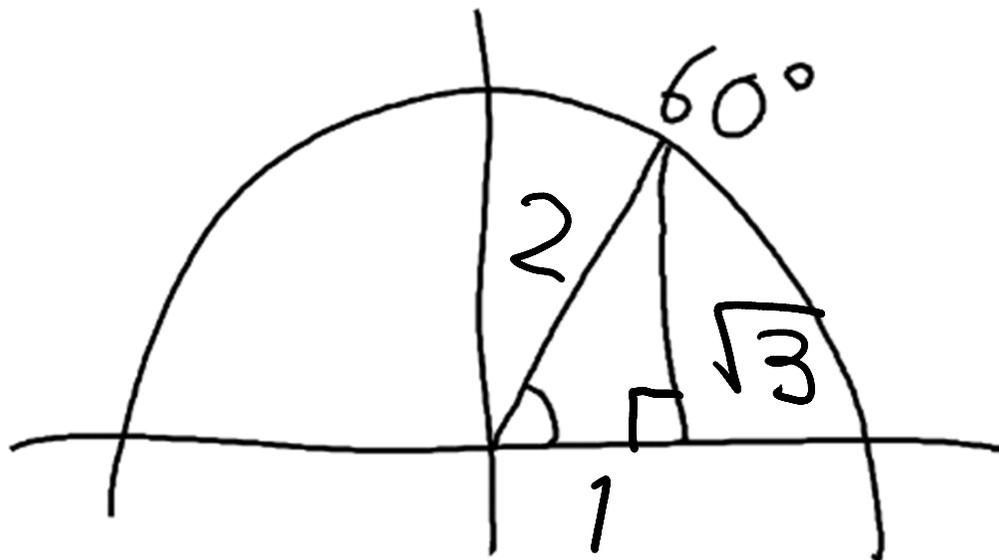
2. 三角比②



[3問目/全6問]

(1点)

$$\tan 60^\circ =$$



$\frac{1}{\sqrt{3}}$

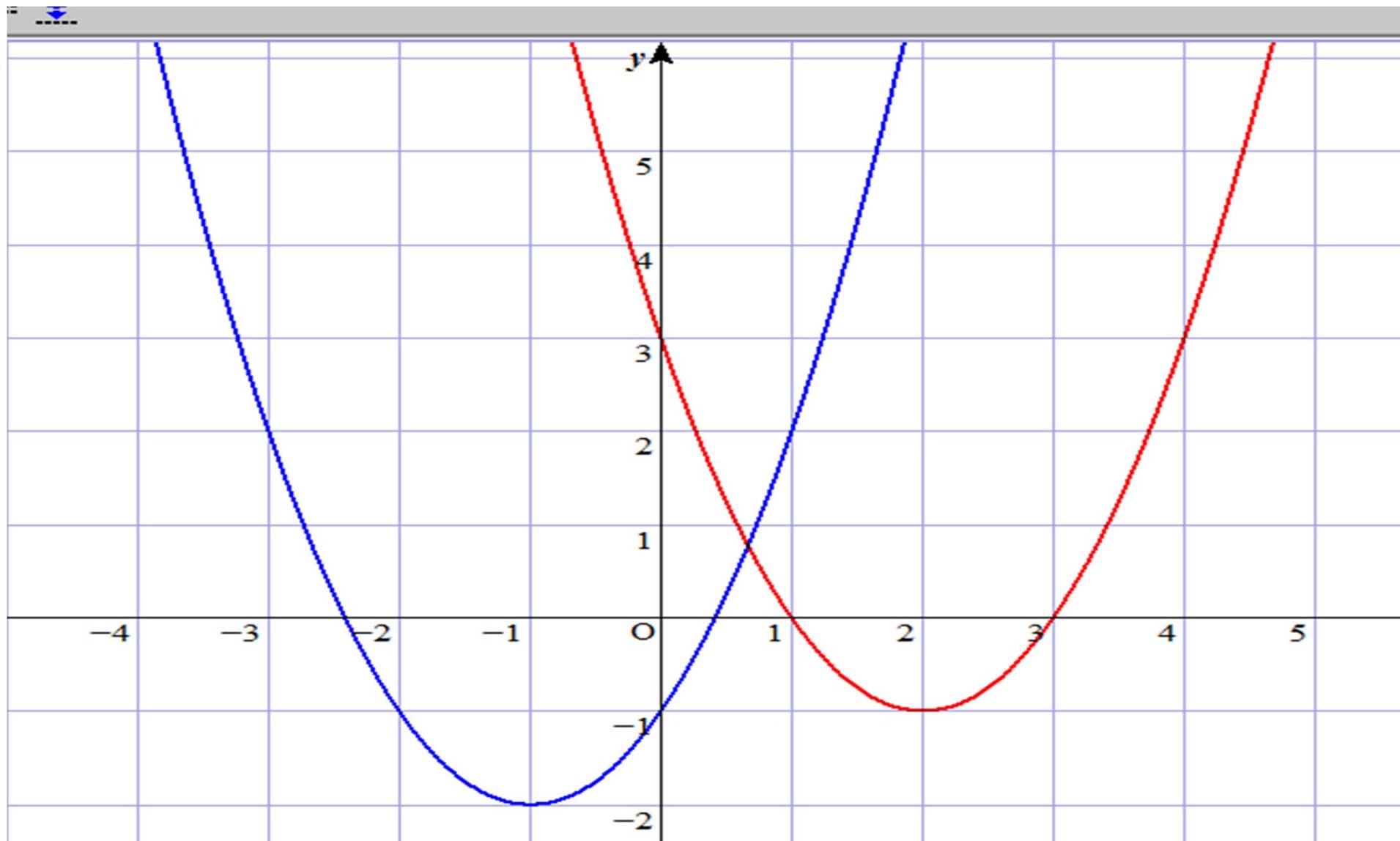
$\frac{1}{\sqrt{3}}$

$\frac{1}{\sqrt{2}}$

$\sqrt{3}$

1

GRAPES(数学グラフソフト)



数学の授業風景



授業支援ソフト活用事例

コミュニケーション英語Ⅰ 「ネームタグ」

ねらい

「ネームタグ」を作って電子黒板に投影し発表することで、ALTへの**自己紹介を兼ねた表現活動**を行う。

授業の流れ

ALTの「ネームタグ」を見せ、自己紹介を聞かせて、それを参考に自分の「ネームタグ」を作成する。

自分で紙に絵や文字を描いて表現するか、パワーポイントで作成するかは自由に選択。自筆の「ネームタグ」は写真撮影をし、「**xSync**」で送信・表示・発表。（生徒のPC操作と電子黒板操作はJTEとALTが役割分担をして行う）

どのクラスも**意欲的に**取り組めた。クラスメイトの発表を**興味を持って**聞くことができた。

英語の授業風景



授業以外での利活用

- 「学校便り」「学級通信」を学習用PCに配布→カラー化、ペーパーレス化
- 校内読書会のテキストを「SEI-Net」アンケート機能により投票で決定
- 進路意識調査を「SEI-Net」アンケート機能により実施
- ホームルーム時に「SEI-Net」の画面から時間割や行事等の連絡事項を確認



3. 今後の展望

これまでの効果

- 「習うより慣れよ」の姿勢が、教師・生徒両者の学習用PC操作の慣れや利活用シーンの増加につながった。
- 学校長のリーダーシップのもと、1学期～夏季休業中の校内研修・ミニ研修を通して、学習用PC利活用の機会が増えてきた。

これまでの効果

- 電子黒板と学習用P Cを利活用することにより、生徒の興味・関心や理解度が高まってきた。
- 自作教材作成には時間がかかるが、教師の努力と比例して、電子黒板と学習用P Cの連動した授業により、生徒たちの学習に取り組む姿勢が積極的になった。(授業がおもしろい、楽しいといった声)

これまでの効果

- 生徒たちは、休み時間も学習用PCをよく使っており、自ら学ぼうとする姿勢につながっていると考える。
- 県教委の「モデル指導資料」をはじめ、各教師およびICTサポーター作成のデジタル教材が増えてきた。

今後の課題と展望

- **教師同士のICT利活用事例の更なる共有**
→どのような場面で、どの機能が活用できるか。授業形態や指導法の研究、教材の蓄積、指導事例の更なる共有。
- **デジタル教材の更なる充実**



個々での学び



ご清聴

ありがとうございます
ごまじまじ

つるもと

協働的な学び